

製品名: OAT1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15081**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	
別名	
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O95742
免疫原	ヒト OAT1 由来の合成ペプチドポリクローナル

背景

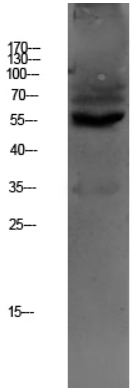
ドメイン: 複数のシステイン残基が、細胞膜への適切な標的化に必要である。機能: 内因性および外因性有機アニオンの腎排泄に関与する。1分子の有機アニオンの取り込みと1分子の内因性ジカルボン酸（グルタル酸、ケトグルタル酸など）の排出が同時に起こる

場合、有機アニオン交換体として機能する。2,3-ジメルカプト-1-プロパンスルホン酸 (DMPS) のナトリウム非依存性取り込みを媒介する (類似性による)。p-アミノ馬尿酸 (PAH)、オクラトキシン (OTA)、アシクロビル (ACV)、3'-アジド-3'-デオキシチミジン (AZT)、シメチジン (CMD)、2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 (2,4-D)、馬尿酸 (HA)、インドール酢酸 (IA)、インドキシル硫酸 (IS)、3-カルボキシ-4-メチル-5-プロピル-2-フランプロピオネート (CMPF)、シドホビル、アデホビル、9- (2-ホスホニルメトキシエチル) グアニン (PMEG)、9- (2-ホスホニルメトキシエチル) ジアミノプリン (PMEDAP)、およびエダラボンの硫酸塩のナトリウム非依存性の取り込みを媒介します。PAHの吸収は、p-クロロメルクリベンゼンスルホン酸 (PCMBMS)、ジエチルピロカーボネート (DEPC)、スリンダク、ジクロロフェナク、カルプロフェン、グルタル酸、オカダ酸 (類似性による) によって阻害されます。PAHの吸収は、ベンゾチアゾリルシステイン (BTC)、S-クロロトリフルオロエチルシステイン (CTFC)、システイン S-抱合体 S-ジクロロビニルシステイン (DCVC)、フロセミド、ステビオール、ホルポール 12-ミリステート 13-アセテート (PMA)、カルシウムイオノフォア A23187、ベンジルペニシリン、フロセミド、インドメタシン、ブメタミド、ロサルタン、プロベネシド、フェノールレッド、尿酸、および α -ケトグルタル酸によって阻害されます。PTM: グリコシル化。Asn-113 のグリコシル化は二次レベルで起こる可能性があります。グリコシル化は、トランスポーターが細胞膜に適切に到達するために必要です。類似性: 主要促進因子スーパーファミリーに属します。有機カチオントランスポーターファミリー。組織特異性: 腎臓で強く発現し、肝臓、骨格筋、脳、胎盤でも弱い発現を示します。近位尿細管の基底外側膜に存在します。ドメイン: 細胞膜への適切な到達には複数のシステイン残基が必要です。機能: 内因性および外因性の有機アニオンの腎排泄に関与しています。1分子の有機アニオンの取り込みが1分子の内因性ジカルボン酸 (グルタル酸、ケトグルタル酸など) の排出と結びついている場合、有機アニオン交換体として機能します。2,3-ジメルカプト-1-プロパンスルホン酸 (DMPS) のナトリウム非依存性吸収を媒介します (類似性による)。p-アミノ馬尿酸 (PAH)、オクラトキシン (OTA)、アシクロビル (ACV)、3'-アジド-3'-デオキシチミジン (AZT)、シメチジン (CMD)、2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 (2,4-D)、馬尿酸 (HA)、インドール酢酸 (IA)、インドキシル硫酸 (IS)、3-カルボキシ-4-メチル-5-プロピル-2-フランプロピオネート (CMPF)、シドホビル、アデホビル、9- (2-ホスホニルメトキシエチル) グアニン (PMEG)、9- (2-ホスホニルメトキシエチル) ジアミノプリン (PMEDAP)、およびエダラボン硫酸塩のナトリウム非依存性吸収を媒介します。PAHの吸収は、p-クロロメルクリベンゼンスルホン酸 (PCMBMS)、ジエチルピロカーボネート (DEPC)、スリンダク、ジクロロフェナク、カルプロフェン、グルタル酸、オカダ酸 (類似性による) によって阻害されます。PAHの吸収は、ベンゾチアゾリルシステイン (BTC)、S-クロロトリフルオロエチルシステイン (CTFC)、システイン S-抱合体 S-ジクロロビニルシステイン (DCVC)、フロセミド、ステビオール、ホルポール 12-ミリステート 13-アセテート (PMA)、カルシウムイオノフォア A23187、ベンジルペニシリン、フロセミド、インドメタシン、ブメタミド、ロサルタン、プロベネシド、フェノールレッド、尿酸、および α -ケトグルタル酸によって阻害されます。PTM: グリコシル化。Asn-113 のグリコシル化は二次的に起こる可能性がある。グリコシル化は、トランスポーターが細胞膜へ適切に輸送されるために必要である。類似性: 主要促進因子スーパーファミリーに属する。有機カチオントランスポーターファミリー。組織特異性: 腎臓で強く発現し、肝臓、骨格筋、脳、胎盤でも弱い発現を示す。近位尿細管の基底外側膜に認められる。

研究分野

シグナル伝達、代謝、細胞膜、チャネル、神経科学、プロセス

画像データ



HEPG2 ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 1000 倍に希釈した。二次抗体は 1:20000 倍に希釈した。